

5.自宅や出張先から フルテキストへ



ここでは、キャンパス外（ご自宅や出先など）から大阪大学が契約しているデータベースや電子ジャーナルを利用する方法を説明します。

キャンパス内とキャンパス外の違い

キャンパス内

研究室 / D3センター / 図書館等のPC を使っているとき

大阪大学のWi-Fi (odins-1x) に接続しているとき

→ここまで説明した操作方法でOK

キャンパス外

[ご自宅や出張先にいるとき](#)

→フルテキストを手に入れる場合、**別途操作が必要**

35

電子ジャーナルやデータベースの利用方法は、キャンパス内とキャンパス外で少し異なります。

キャンパス内とは、大阪大学の学内ネットワークにつながった状態をいいます。研究室、D3センター、図書館などにある有線接続のパソコンを使っている場合や、ご自分のパソコンやタブレットを学内Wi-Fi (odins-1x) に接続している場合が、これに該当します。

キャンパス内では、IPアドレスによって自動で認証が行われますので、特別な認証操作を必要とせずに電子ジャーナルやデータベースを利用することができます。

キャンパス外から電子ジャーナルやデータベースを利用する際には、大阪大学個人IDによる認証操作が必要になります。

キャンパス外：OPACから①

蔵書検索（OPAC）⇒ 各ジャーナルの画面 ※ここまではキャンパス外からでも同じ表示

The screenshot shows the OPAC interface for 'Physics Letters A'. On the left, there is a sidebar with options like '印刷' (Print), 'メール送信' (Email), 'ファイル出力' (File output), 'EndNote Online(RIS)出力' (EndNote Online(RIS) output), and 'Mendeley出力' (Mendeley output). The main content area displays the journal's title, publisher (North Holland), and ISSN (0302287488). A red arrow points to the 'eJournal' link in the '見る' (View) section. On the right, there is a login section for '大阪大学 全学 IT 認証基盤サービス' (Osaka University All-campus IT Authentication Infrastructure Service) with fields for '大阪大学個人ID' (Osaka University Personal ID) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button.

大阪大学 全学 IT 認証基盤サービス

ログイン

大阪大学個人ID :

パスワード :

ログイン

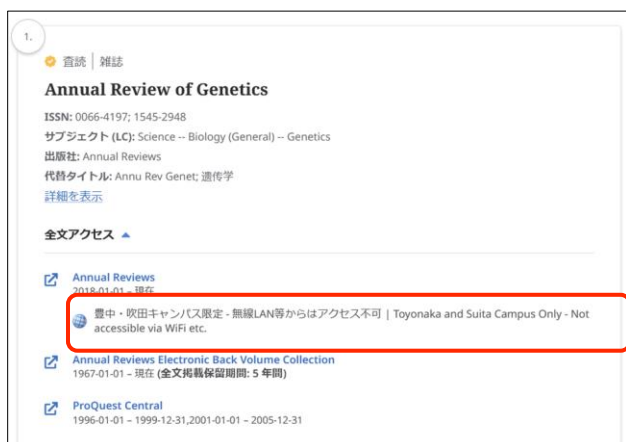
リンクをクリックすると認証画面へ
⇒大阪大学個人IDと
パスワードでログイン

36

キャンパス外でOPACから電子ジャーナルにアクセスする場合は、「e-Journal」ボタンをクリックすると認証画面が開きます。
学生の皆さんは、KOANにログインするときに使う大阪大学個人IDとパスワードを入力してログインしてください。

キャンパス外：OPACから②

注意：キャンパス外からはアクセスできないタイトルもある



豊中・吹田キャンパスの
ネットワークからアクセス可能

37

なお、一部の電子ジャーナルについては、キャンパス外から利用することができませんのでご注意ください。

こうした電子ジャーナルは、OPACの書誌詳細画面に表示される「UOsaka」アイコンをクリックすると遷移する画面で、「全文アクセス」の項目に「〇〇キャンパス限定」というメッセージが表示されます。

このスライドの例では、「豊中・吹田キャンパス限定 無線LAN等からはアクセス不可」と書かれています。この電子ジャーナルは、豊中キャンパス・吹田キャンパス内の有線接続された端末からしか利用できないということです。

こうした電子ジャーナルを利用したいときに、ご自身が所属しているキャンパスが利用対象外となっている場合には、以下いずれかの方法で読みたい文献を入手していただけます。

①ILLの申し込み（この教材の「4 ILLサービス」をご参照ください）

②利用対象となっているキャンパスにある図書館の情報教育端末の利用

キャンパス外：論文データベースから

論文データベースを**使い始めるときに**阪大在籍者の認証を行う



図書館webサイト「[キャンパス外から電子リソースを使う](#)」をクリック

→キャンパス外から利用可能なデータベース一覧

→使用したいデータベースを選択し、**阪大個人ID・パスワード**で認証

※Google Scholarではキャンパス外からの認証のしくみは利用不可

38

キャンパス外からデータベースを利用する際には、図書館Webサイトのトップページに表示される「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリックし、利用したいデータベースがキャンパス外から利用可能かを確認してください。

「キャンパス外から電子リソースを使う」をクリックすると、キャンパス外から使えるデータベースの一覧が表示されます。

この中から使いたいデータベースを選んでクリックすると、大阪大学個人IDとパスワードを使ってログインする画面が表示されます。

ログインすれば、キャンパス外であっても、キャンパス内と同様にフルテキストを利用することができるようになります。

また、データベースの検索結果に「UOsaka」アイコンが表示され、「Full Text Finder」を利用することができるようになります。

キャンパス外：GakuNinを使う

学術認証フェデレーション(GakuNin)

電子リソースを利用する大学、電子リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体（フェデレーション）

阪大個人IDとパスワードで認証が可能

電子リソースのほか、NII FileSender（ファイル共有システム）、しぼすけ（スケジュール調整ツール）なども利用可能

※新聞記事データベースなど、学認では利用できないデータベースもあります。

39

学外からの認証方式として、これまで説明してきた方法とは別に、学術認証フェデレーション（GakuNin）という方式もあります。

GakuNinによる認証を経て利用することができるデータベースは、以下のページにまとめられています。図書館が提供しているデータベースとは重ならないものもありますので、キャンパス外からデータベースを利用したいときにはこちらもご参照ください。

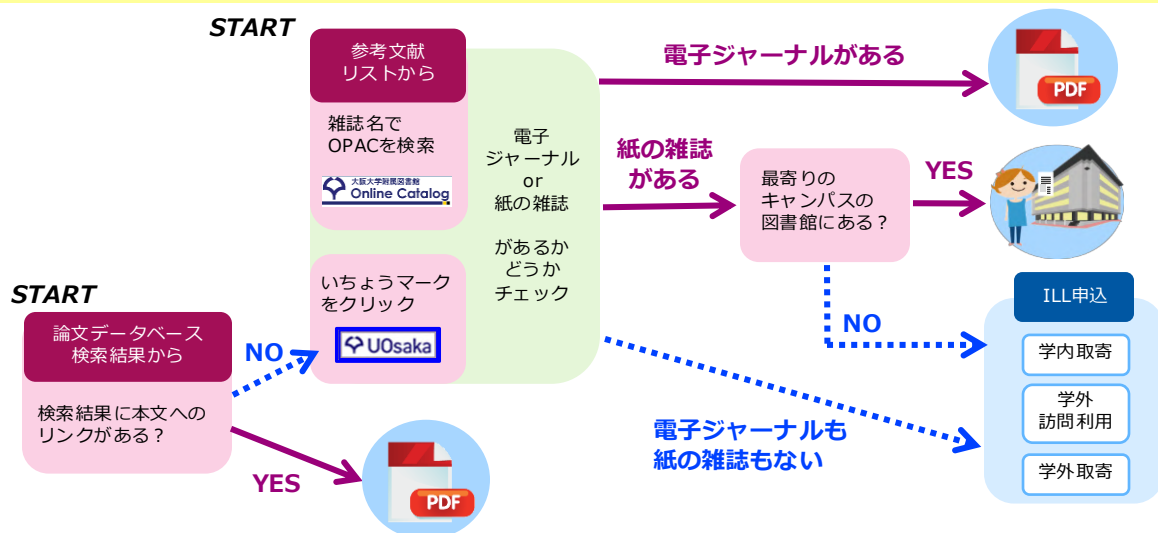
<https://web.auth.osaka-u.ac.jp/gakunin/>

まとめ



最後に、この講習のまとめです。

フルテキスト入手法



41

ここまで、論文フルテキストの入手方法を見てきました。
説明した内容をフロー図にしたものをスライドに掲げています。フルテキストを
入手するために利用可能な選択肢について、ひとつおり分かっていただけたか
と思います。

基本的には、コストが低い順に、

1. 電子ジャーナルをダウンロード
2. 阪大で所蔵している紙の雑誌をコピー
3. ILLサービス

の順番でフルテキストの入手を検討してください。

ご相談ください

総合図書館B棟2F 参考調査カウンター

- ・ 職員がお待ちしております
- ・ 平日9:00-17:00（事前予約不要）
- ・ メール・オンラインでの相談も受け付けます

大阪大学附属図書館 レファレンスデスク

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/reference_desk/

- ・ メール・フォーム・オンラインでの相談受付中
- ・ 附属図書館4館のレファレンス・スタッフが
随時ご相談・参考調査に応じています



レファレンス・デスク



大阪大学附属図書館

実際にフルテキストを探すときに操作方法が分からない、参考文献リストの書誌情報の読み取り方が分からないなどの疑問点がありましたら、ご遠慮なく総合図書館参考調査カウンターへお尋ねください。

平日の9時から17時の間、図書館職員がお待ちしております。また、メールやオンラインでの相談も受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

また、大阪大学附属図書館4館では、レファレンス・スタッフが随時ご相談や調査を受け付けています。メール・フォーム・オンラインのいずれの方法でも申し込みが可能です。詳しくは、画面のQRコードから図書館Webページをご覧ください。

「フルテキスト入手法」のe-learning教材本編はここまでです。ご覧いただきありがとうございました。皆さんの学習・研究にお役立ていただければ幸いです。本編では説明することができなかった二三の文献入手方法について補遺で説明していますので、ご関心のある方はそちらも併せてご覧ください。